

県道小松島佐那河内線の西側への歩道延伸について



新風はなみずき こんどう 近藤 じゅんこ 純子 議員

答 早期事業化に向けて、県に働きかけ積極的に取り組みたい



近藤 県道小松島佐那河内線の西側は、通行量が非常に多く大型車両が往来し、歩行者に危険な現状がある。早期の西側延伸に向けた歩道整備を強く要望するが、考えは、

近藤 命を守る安全対策強化のための通学路安全推進プログラムの成果は、**副教育長** 平成29年度から4年間で54か所の安全対策を実施した。

スを取り入れ、危険の周知徹底を。**危機管理部長** 避難行動を早期に行えるよう、文字に加え、音声アナウンス機能の充実を図る。

都市整備部長 道路利用者にとり災害時においても安全な歩道整備の実現は不可欠であると認識。今後も県と連携し、交通環境整備に取り組みたい。

近藤 引き続き命最優先の安全対策を講じてほしい。要望のある危険箇所は粘り強い安全対策が重要。今後の計画は、**副教育長** 通学路の安全に関する情報・要望に真摯に対応し、安全確保に取り込む。

近藤 「避難済み看板」を各家庭に配布することで、災害時、避難の迅速な助け合いを望むが。**危機管理部長** 地域防災の役割を担う自主防災組織等に意見をもらい、安



整備された歩道

近藤 非常時、市HP「災害時、危険区域からの円滑な避難について」に音声ガイドン

する。**近藤** 「避難済み看板」を各家庭に配布することで、災害時、避難の迅速な助け合いを望むが。**危機管理部長** 地域防災の役割を担う自主防災組織等に意見をもらい、安

否確認の手法を検討したい。

務教育9年間を見通した環境づくりが重要になるが、今後の考えは、

人の可能性を伸ばす教育の推進につなげてほしいが、市の考えは、

小学校高学年の教科担任制導入に向けて

近藤 高学年は、意欲や好奇心、学力が高まる時期である。教員間の連携を生かした授業の専門性を高める工夫により、義

教育長 教員の連携を生かした小学校教科担任制の在り方や、中学校への円滑な接続について研究を進めたい。**近藤** 教員再任用制度を効果的に活用し、一人一

職後も働く再任用教員は16人おり、英語や音楽等の専門科目で活躍している。今後も、教育環境充実のため再任用制度を活用していく。